

DX推進のための統計手法セミナー

データをどんどん活用しよう！

会場開催

初心者歓迎

受講料※

DXを推進する上で不可欠な統計手法をご紹介します！

統計的思考はデータに基づく意思決定や業務改善に直結し、DXの成功に大きく貢献します。
本セミナーでは、ものづくり分野で活用される実験計画法と、多次元データを散布図に
“見える化”できる主成分分析についてご紹介します。

日時

2025年10月22日（水）13：00～17：00

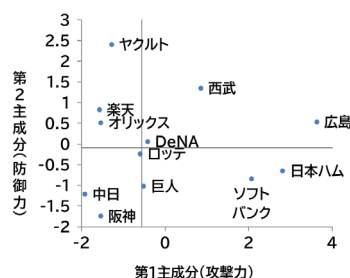
場所

神戸市ものづくり工場 D棟5階セミナールーム

<内容>

- ① DXについて
- ② 実験計画法
- ③ 主成分分析法
- ④ 演習

要因	SS	φ	MS	分散比	判定	F値	
						5%	1%
M	94.74	1	-	-		-	-
明幅：A	0.12	1	0.12	24.0	*	18.5	98.5
翼長：B	0.25	1	0.25	48.6	*	18.5	98.5
鍾：C	0.71	1	0.71	139.7	**	18.5	98.5
AxC	0.02	1	0.02	4.1		18.5	98.5
BxC	0.02	1	0.02	3.7		18.5	98.5
誤差	0.01	2	0.01	-			
計	96	8					



※ 計算は生成AIで簡単！

実験計画法
：分散分析表主成分分析
：散布図

<受講料※>

神戸市内に事業所/営業所等がある企業：無料

上記以外の企業：2,500円/人（税込）

※ご不明な場合はお問い合わせください。後日請求書を送付しますので指定の
振込先へ入金をお願いします。恐れ入りますが振込手数料はご負担願います。

御社の社内教育に是非ご活用ください！

御社にてセミナーを開催することも可能です ※日程/時間は別途相談

3

<持参品> 各自PCを持参してください

(要 Excel、USBポート/タイプA、可能ならMicrosoft/copilotインストール済)

4

<定 員> 20名程度

<アクセス>

神戸市兵庫区和田山通1-2-25
神戸市ものづくり工場 D棟
※駐車場あり



5

<講師プロフィール>

公門泰博 NIRO 3Dラボ コーディネーター

1984年に川崎重工業(株)に入社後、約30年にわたり一貫して生産技術の研究開発に従事しました。材料開発や生産技術に関する特許を多数登録。約5年間にわたり関連会社のHRD本部副本部長として社内研修も担当し、現在も川重やNIROでデータ分析や新QC7つ道具手法等のセミナー講師をしています。

紙コプター演習

紙コプターの 飛行実験



	胴幅：A	翼長：B	AxB	踵：C	AxC	BxC		データ
	1	2	3	4	5	6	7	平均
1	1	1	1	1	1	1	1	3.08
2	1	1	1	2	2	2	2	3.64
3	1	2	2	1	1	2	2	3.35
4	1	2	2	2	2	1	1	4.19
5	2	1	2	1	2	1	2	2.95
6	2	1	2	2	1	2	1	3.39
7	2	2	1	1	2	2	1	3.19
8	2	2	1	2	1	1	2	3.74
基本表示	a	b	ab	c	ac	bc	abc	平均
第1水準効果	0.12	-0.18	-0.03	-0.30	-0.05	0.05	0.02	3.44
第2水準効果	-0.12	0.18	0.03	0.30	0.05	-0.05	-0.02	

飛行時間を入力すると
分析表を自動生成！

データの入力
プーリング要因を削除する → プーリング自動計算

* 誤差列を少なくとも1列以上設定 (⇒ 文言記入しない)

分散分析表 プーリング前						
要因	SS	φ	MS	分散比	判定	F値
M	94.74	1	-	-	-	-
胴幅：A	0.12	1	0.12	33.9		161.4
翼長：B	0.25	1	0.25	68.8		161.4
AxB	0.01	1	0.01	1.8		161.4
踵：C	0.71	1	0.71	197.7	*	161.4
AxC	0.02	1	0.02	5.8		161.4
BxC	0.02	1	0.02	5.3		161.4
誤差	0.00	1	0.00	-		-
計	96	8				

プーリング後						
要因	SS	φ	MS	分散比	判定	F値
M	94.74	1	-	-	-	-
胴幅：A	0.12	1	0.12	24.0	*	18.5
翼長：B	0.25	1	0.25	48.6	*	18.5
踵：C	0.71	1	0.71	139.7	**	18.5
AxC	0.02	1	0.02	4.1		18.5
BxC	0.02	1	0.02	3.7		18.5
誤差	0.01	2	0.01	-		-
計	96	8				

有意な因子